

愛知県議会議員 わたらい克明の

県政ジャーナル



2002年 夏号 (第13号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市多米東町二丁目20番地の12

『特区』構想で経済活性化を!



今秋試験走行の常電導磁気浮上式リニアモーターカー (HSST)

愛・地球博(愛知万博)のアクセスとなる東部丘陵線に運行するHSST車輛です。(名古屋市南区の大江実験線にて)

わららい

愛知県議会議員

渡会 克明

暦の上では立秋を過ぎましたものの、まだまだ残暑厳しい折、皆様方におかれましては、ご健勝のことをご推察申し上げます。日頃からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

本当に早いもので、県議会議員として4度目の夏を迎えることができました。今年の夏は特別に暑く感じます。これもひとえに皆様方の深いご理解と温かいご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

愛知県も財政改革を進めながら、安心をキーワードに庁内横断的に連絡連携をとりながら、徐々にではありますが財政再建に取り組んでいるところがあります。金がなければ、知恵を出し工夫をし、県民の皆様方には今まで以上の親切丁寧なサービスを心がけることが大切であると、常々訴えております。

私は現場の地方議員として、目下の課題は何か、それを常に考え、自分なりに実行してきたつもりであります。これからも県民福祉向上のために、全力で取り組んでまいります。今後ともどうか皆様方の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成十四年八月



県議会報告



6月定例議会における

産業労働委員会での私の質問と答弁の一部抜粋

7月2日、県議会の産業労働委員会が開催され、以下2点について質問をいたしました。

1. 研究成果活用プラザについて

(質問)

科学技術振興事業団の「研究成果活用プラザ東海」が名古屋市南区に建設中であるが、すでに設置されている全国5箇所の施設はすべて県名がついているが本県はなぜ東海が。また、この施設をどのように活用していくのか。

(答弁)

東海という名称については、施設設置の際に愛知県、岐阜県、三重県が連名で陳情した経緯がある。

本年11月に開館予定で準備を進めており、準備事務局がオープンし、順次、様々な事業がスタートしていくことになる。

完成してからは大学・企業の研究等をいかに早く事業化に結びつけていけるかという事業展開が大切となる。

(質問)

1年1課題で平均5千万円の予算が国から配分され、5課題を行うと聞いているが、これを活かすために、

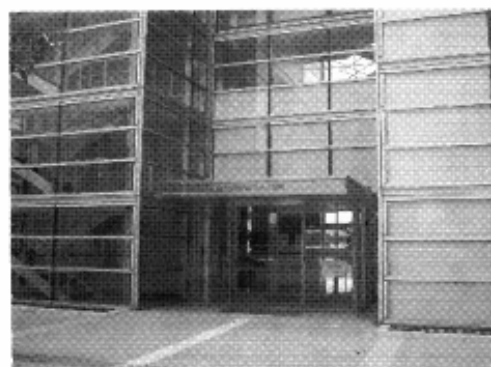


↑ 6月12日に訪問した「研究成果活用プラザ福岡」

大学・企業とどう連携をとっていくのか。また、本県が研究成果活用プラザを活用していくとき、組織面ではどのようににかかわっていくのか。

(答弁)

7月中頃から公募し、この地域の大学・企業との共同研究という形でスタートすると思う。プラザには、4名の科学技術コーディネーターが配置され、大学・企業の間を取り持つ活動を行う。こうした方を中心に、県の科学技術交



流財団が行うテクノサポート事業に従事している7名のコーディネーターとの連携をうまく図っていく。

組織については、プラザの館長に県のOBを送り、事務局にも出向という形で県職員を出したいと思っている。また、コーディネーターにも県の試験研究機関のOBも就任する予定である。



2. 構造改革特区

構想について

(質問)

産業立地促進税制について、現在企業庁が企業誘致を行っているが、本県はただ土地の販売・消化を目指すのではなく、三重県のようにシャープ始めまとまった企業誘致や技術開発ができないか。

また、国から構造改革特区の話があるが、愛知県がほとんど提案すべきであると思うが、現在どのような準備状況であるか。

(答弁)

本県の対応については、5月1日に企画振興部の中に愛知県規制改革特区研究会というオール県庁としての事務局を設置し、関係課長が構成員となり、研究を始めたところである。総合規制改革会議事務局へ出向き、意見交換を行っている。6月21日中部経済連合会の主催で、中部5県、名古屋市、10の大学等がメンバーとなり、中部産業振興協議会を設立し、特区制度創設についての国への要望が採択された。

(質問)

本県では2大プロジェクトとして、中部国際空港建設や万博の開催を進めているが、これをチャンスと捕らえ、前島を国際交流特区にすることや、海上の森を自然とのふれあい特区にすることなど、国に対して特区構想を発信していくことが大切だと思う。

もう一度伺うが、単に土地を売るのでなく、この土地にこのトップ企業を誘致しようという戦略的な考え方が重要だと思うがいかがか。

(答弁)

特区については、地域経済の再興の起爆剤として、非常に有効な手段と考えており、国としてもいろいろな規制緩和のメニューを用意し、各県からアイデアの吸い上げを行っている。

国は地方で主導権、主体性を持って行うなら、規制の穴をあけることぐらいはするといふ姿勢であるので、県がどれだけ主体的に行えるか十分考えた上で、手を上げる必要があり、内部でも相当の議論が必要である。

いろいろな特区構想があるのは承知しているが、一番熟度が高いと思っているのは、



夏の留学生

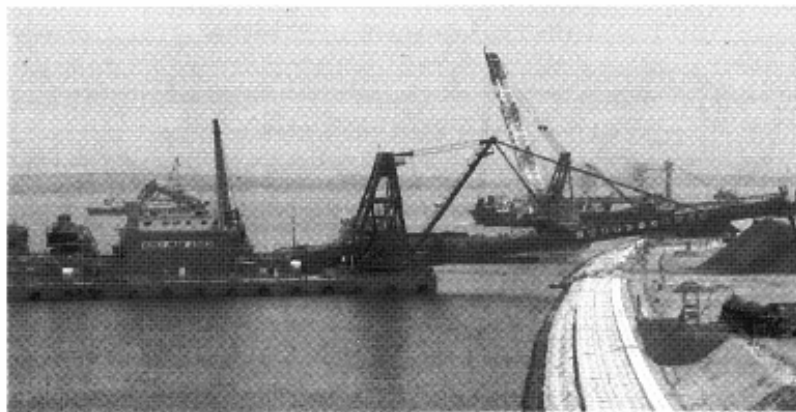
わが家には2つのツバメの巣があります。それはそれは賑やかなもので、チーチーと鳴く雛鳥の声で、夏をさらに薄明かせてもらっています。

前島周辺である。そこで21世紀の新しいものづくり、街づくりを行ってみたいといふと考えているが、立地するのは企業であり、企業にとって、いかに良いかということに答えていかないと特区構想も絵に描いたもちになってしまう。前島に企業に来てもらうためには、どういう条件整備が必要であるか。産業界からの意見を特に聞いていく必要がある。国際物流機能の特区のようにすることや、燃料電池を駆使した新しい地域分散型エネルギーでものづくり、街づくりを支えていきたい。

企業誘致の基本理念について、単に余っている土地を消化する観点から行うのか、また、まとまった技術開発まで念頭に置いた戦略的な観点か

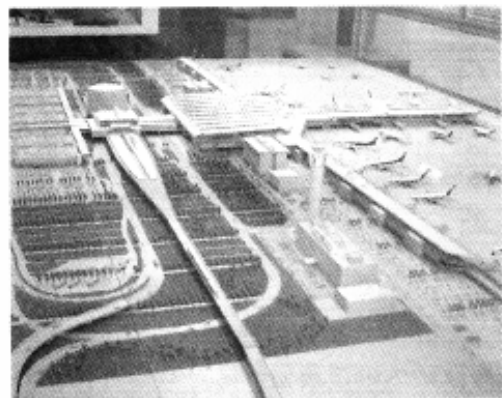
ら行うのかは、どちらも重要であるが、現在は前者にウエートが置かれている。その理由は、雇用が失われているときに、そこで生産し、雇用を創出していくことが現状では緊急に重要であることから、基準を満たせば、その地域の市町村が望むものであれば業種を問わないこととしている。

中部国際空港 連絡橋が完成



← 連絡橋から埋立中の空港島を見る

↓ 空港の完成予定模型



8月2日、産業労働委員会県内調査として、中部国際空港島への連絡道路橋を視察しました。

船を使ってきた約千人の建設作業員の現場への送迎は連絡橋を利用してのバスに切り替え、8月下旬から本格的に輸送が始まります。

連絡橋は全長が1,343mで、空港アクセス道の知多横断道路と接続します。4車線のうち2車線を先行して建設し、15基の橋脚が立ち、残り2車線の完成は2004年秋の予定です。

空港島まで船で10分くらいかかったのが、車なら1、2分で渡れます。作業員の輸送がスムーズになることで、2005年3月の開港を目指し、旅客ターミナルビルなどの建設にも弾みがつきそうです。

愛知万博だより

- ・皇太子殿下が名誉総裁にご就任
- ・公式マスコットキャラクターの名前は「モリゾー」と「キッコロ」に決定!



キッコロ

モリゾー

82,527 件もの一般応募の中から、選定委員の選考を経て、愛称が決定しました。
これからはみなさんのお目にかかることもたくさんあると思います。お楽しみに。



知ってましか?

愛知の人口、世帯 (平14.6)

人口	7,109,736人	全国第4位
男	3,556,503人	(50.02%)
女	3,553,233人	(49.98%)
世帯	2,623,790世帯	1世帯当たり 2.71人

平均年齢 (平14.4) 40.3歳
 平均寿命 (平12) 男 78.0歳 女 84.5歳
 100歳以上の人 (平14.4.1) 589人
 男 105人 女 484人

年齢3区分別割合	平成13年	平成3年
0~14歳	15.2%	17.9%
15~64歳	69.3%	71.8%
65歳以上	15.1%	10.2%

人口移動 (平12.10~13.9)

県外からの転入	162,479人
県外への転出	150,662人

出生、死亡、婚姻、離婚の状況 (平12)

出生	74,736人	7分00秒に1人	出生率 (人口千人当たり) 10.8人
死亡	45,810人	11分30秒に1人	死亡率 (人口千人当たり) 6.6人

女性が生涯に産む平均子供数 (平12) 1.44人

愛知県が全国1位の主な農水産物 (平12)

	生産高	全国シェア
キャベツ	201,800t	13.9%
きく (切り花)	281億円	32.5%
ばら (切り花)	34億円	12.4%
あなご類	1,024t	12.2%
うなぎ	8,317t	34.5%
あさり類	9,079t	25.5%

暮らしの相談110番

自宅

〒440-0028
 豊橋市多米東町2丁目20番地の12
 電話 (0532) 62-9633
 FAX (0532) 64-4368
 E-mail: wata99@plum.ocn.ne.jp

県庁

〒460-0001
 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
 電話 (052) 961-2111
 FAX (052) 961-2013

◆県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に◆

※この県政ジャーナルは、わたらい克明の手作り新聞です。(再生紙を使用しています)